

生命科学・医学系研究に関する情報公開について

2024年 11月 15日

研究実施代表者 リハビリテーション科 田中勝人

研究課題名	歩行自立予測因子としての座位での下肢荷重力の有用性 －急性期脳卒中片麻痺患者を対象とした縦断研究－
研究期間	<u>研究機関の長の許可日～西暦 2024年 12月 31日</u>
研究責任者	今村病院診療技術部リハビリテーション科 田中勝人
研究対象者	2020年4月22日～2021年10月23日に当院へ入院し、リハビリテーション実施した脳卒中患者。なお、発症前に歩行が困難であった方、発症後に意識障害を呈した方、テント下病変を有した方は研究対象者から除外します。
研究の意義と目的	<p>脳卒中片麻痺患者の移動能力は、退院先に影響し、自宅退院の可否を判断する際の重要な因子の一つです。したがって、脳卒中片麻痺患者が、将来歩けるのか否かを予測することはとても大切です。特に、入院してすぐに予測できればとても有用だと考えられます。しかし、現状では発症後数か月経過した後に、将来歩けるのか否かを予測する報告が大半を占めています。そこで我々は、「座位での下肢荷重力」という下肢の筋力を評価する指標を使用し、なるべく早い段階で将来歩行が可能か否かを予測することを目指します。</p> <p>本研究の目的は、急性期脳卒中片麻痺患者の座位での下肢荷重力が歩行自立の可否を予測できるのかについて検証することです。本研究が明らかになることで急性期脳卒中片麻痺患者における歩行の予後予測に貢献するものと考えます。</p>
研究に用いる試料	カルテより抜粋
試料・情報の提供元	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 取得する試料・情報：性別、脳卒中の病側（右・左）、年齢、身長、体重、体格指数、握力、座位での下肢荷重力、脳卒中機能障害評価法の運動項目、MMSE、FIM-M
研究のための試料・情報を利用する者	倫理委員会で承認され研究機関の長から許可された研究者

<p>個人情報等の保護について</p>	<p>収集した試料・情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>研究協力の任意性と撤回の自由</p>	<p>この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの試料・情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、試料・情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への試料・情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申しください。</p>
<p>試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について</p>	<p>患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。試料・情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>所属：医療法人社団如水会 今村病院 リハビリテーション科  担当者名：田中 勝人  電話番号：0942-82-5550  対応可能時間：平日：9：00～17：00</p>